

これからの30年

猶本良夫

川崎医科大学総合医療センター 病院長

川崎医科大学 特任教授

これからの30年を予測するのは、簡単ではないといわれています。最近、散髪に行っていたら、理容師の方が話しかけてきて、「最近車の自動運転が進歩してきて、新しく発売された車の機能は驚くばかりです。」と教えてくれました。調べてみると、自動運転にはレベルごとに定義があって、現在国内ではレベル2まで許可されています。レベル2では、車線の逸脱を検知するとステアリング（乗り物の進行方向を任意に変えるためのかじ取り）を補正、先行車との距離を一定に保つために自動でスピード調整をするACC（アダプティブ・クルーズ・コントロール）などをサポートします。レベル5は完全な自動運転：無人運転であり、まったく人はバスやタクシーに乗っている感じで、人工知能（AI）が安全に目的地まで連れて行ってくれます。これから各種の先端技術はどこまで発展するのか、AIがどこまで実用分野に進出してくるか想像できないといわれています。多くの職業、およそ80～90%の職業で大きな影響を受けると予測する報告が多く出ています。

AIに代替されて無くなる職種や業種として、司法書士、税理士に代表される経理・財務・会計系の職種、また、秘書・アシスタント・一般事務系が挙げられています。一方でAI進化の影響を受けて、需要が高まると予想されるものとして、AIを制御・メンテナンス・導入サポートする職種、さらに、AIにはできない他者の気持ちを汲むようなコミュニケーション能力

や、他者に感動を与えられるような人は唯一無二の存在になれると予測されています。また、デザイナー、美容師、理容師、パティシエ、料理人なども同じくAIに影響を受けにくい分野と思われれます。

医療においては、診断、薬剤の選択などでAIの出番があると思われれますが、人や病態の多様性、心やコミュニケーションの観点から労働集約型の分野であることには変わりがなさそうです。労働集約型産業とは、生産要素に占める資本の割合が低く、人間の労働力に頼る割合が大きい産業のことをいいます。お金や機械よりも、人間の手による仕事量が多い産業ということです。英オックスフォード大学でAIなどの研究を行うマイケル・A・オズボーン准教授は、「経済の歴史を見ると、技術的進歩といえ、たいていは身体を使う手作業を機械化することを表していました。しかし、21世紀の技術的進歩は、これまで人間の領域とされてきた認知能力を必要とする幅広い仕事を機械化することを意味するのです。さらに、手作業についても従来は単純化できる作業だけが機械化されてきましたが、今後はより複雑な作業まで機械化できるようになります。」と述べています。

一方、総人口は、平成27（2015）年国勢調査による1億2,709万人から、平成77（2065）年には8,808万人になると推計されています。図は、平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会にて示された「国土の長期展望」中

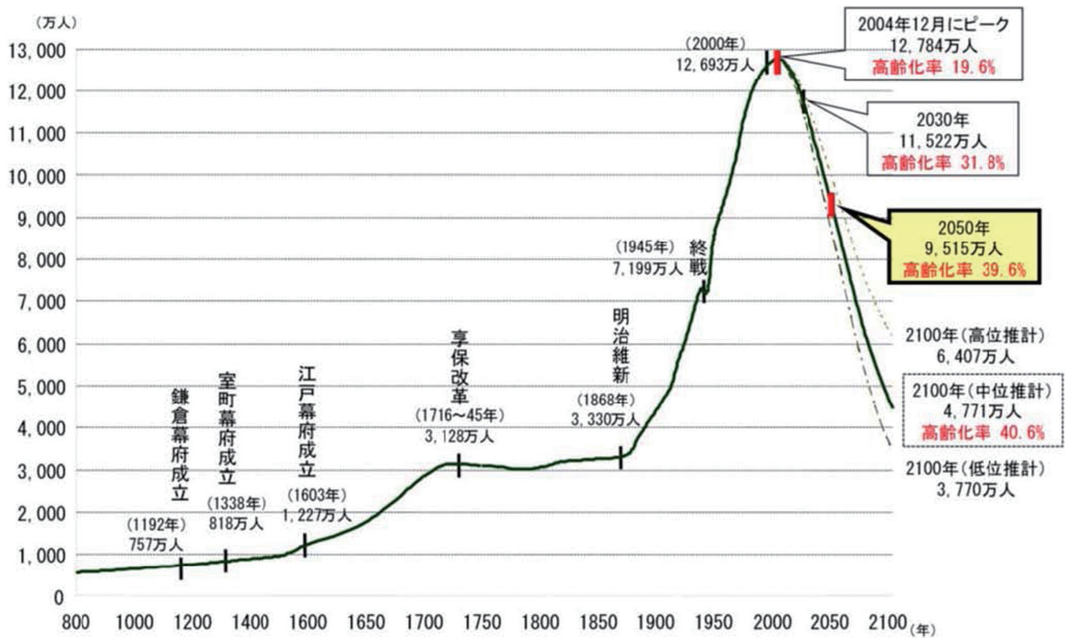


図1 「国土の長期展開」中間とりまとめの概要

間とりまとめ概要です。国連の推計によると、2050年までに日本の100歳以上人口は100万人を突破し、さらに言うと、2007年以降に日本で生まれた子どもの半分は、107年以上生きることが予想されています。

そのため、これまで常識とされてきた、教育、仕事、引退という人生の3ステージの考え方が崩壊すると言われています。その要因は、医療の進歩によって、健康で十分働ける元気な高齢者が増えることです。引退年齢も70~80歳になり、現在よりも20年以上も長く働く、あるいは働かなくてはならないことが当たり前になるようです。100年という長いスパンで人生を考えることが必要になり、自分の進路を幅広く検討する人、また自分らしい人生の道筋を描こうとする人が増え、3つのステージにおけるターニングポイントに個人差が生まれやすくなります。画一的な生き方や、同じ会社で同じ仕事を続けることが時代遅れになるということ

です。仕事に集中する生活を長期間送った末に定年退職という人生ではなく、20世紀は所得再分配の世紀でしたが、21世紀は仕事再分配の世紀とも言われています。

予測しづらいこれからの30年において、現在若い人たちにとって大切なことは、予測不能な環境の変容にも対応して変化し続けることです。そのような世界は、多くの人にとって生きづらいと思います。しかし、これからは変化ができる人とできない人で、ますます格差が広がっていくと考えられています。そして、これからは有形でない無形の資産の蓄積がものを言う時代になっていくと理解されています。「有形資産」とは、お金やモノのことを指しますが、それ以上に、健康や仲間、環境の変容への対応力、情報の収集とその整理力といった「無形資産」が重要だと言われています。

大きな時代の変わり目に生きていることを楽しんでいければと思っています。